キャラクター名: エミリア・ピウス

プレイヤー名:

ベースシークエンス	アンビュラス			**レベル**	5
アザーシークエンス	アーヴァント			**性別**	女
出生タイプ				**年齢**	16
出自	クララ	**運命**	勝利者	**瑕疵**	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	3	0	0	3	33 %
知	16	4	3	23	53 %
敏	7	0	0	7	37 %
運	7	4	2	13	43 %

HP	44
MP	85
移動時ウィル	10
戦闘時ウィル	30

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器1	ストライカー				1	4			
武器2									
防具	ディスティニー								7
インナー	ディフェンド								1
アクセサリ	ステラマリス								
アクセサリ	ゴールドチップ								
能力値＋ボーナス		23	0	4	35	0	9	7	0
アーツ									
その他									
総計(1)		23 %	0	4 %	36 %	4	9 %	7	8
総計(2)		23 %	0	4 %	35 %	0	9 %	7	8
総計(両)		23 %	0	4 %	36 %	4	9 %	7	8

所持品			
累計所持金			
活動基本装備			
メンタルストリーム			
レッドピル			
グリーンピル			

所持金：	預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
レイテント・パワー	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：	1シナリオ1回使用可能　ウィル5点を得る。ハイランダーのみ取得可能。アーツ枠を消費しない						
アーカイヴィスト	1/1	2	インスタント	遠距離	敵単体	0	
効果：	【知】判定(普通、リロール、ベット不可)に成功すれば対象(クリーチャー)のデータを全部公開 種類ごとに1回まで						
ペネトレイティング	3/3	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：	《アーカイヴィスト》で行う知判定の成功率に＋10×[アーツLv]%する						
ヒーリング	4/5	3	アクション	遠距離	味方単体	3	
効果：	対象のHPを[2+AL]d6回復する(ベースがアンビュラスなら、運の半分が効果量にプラス)						
スフィア・アンビュラス	2/5	x	インスタント	自身	自身	0	
効果：	種別がPEでないアンビュラスのアーツの対象数を[AL]体増やす。　X:増えた対象数x使用アーツコスト						
カウンターアクト	1/1	2	アクション	遠距離	味方単体	3	
効果：	対象のバッドステータス1種類を回復する						
デストラクティブ・ヒーリング	1/1	4	インスタント	自身	自身	0	
効果：	《ヒーリング》、《ファースト・エイド》の発動時、使用できるその対象を敵単体に変更し、対象のHPを回復する代わりに、ダメージを与えるこのダメージはバンプアップができず、回復量上昇のボーナスの影響を受ける。また、対象の防御力の影響を受けない						
アンティシペート	1/3	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：	1シナリオ[AL]回、GMにヒントを要求できる　GMが拒否した場合使用回数に数えない						
ドクトレート	1/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：	全ての学問から[2xAL]種類選択。その分野に関する【知】判定に+20%分野：クリーチャー生物学、イクシード工学						
トリマー	1/10	0	パーマネント	遠距離	任意単体	0	
効果 :同じ場面に登場している動物（クリーチャーではない）1体は、あなたに対し無条件に好意を抱く1シナリオ中、[アーツLv]回使用可能							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							
効果：							

瑕疵：気が短い

「前略、敵を知り、己を知れば百戦危うからず」の考えの元に、
モルフやクリーチャーの研究にに余念がない頭脳派ハイランダーを自称する。
その実態はアサルトエンジンの図書館に生息するただの魔物オタク。
研究は自身の好奇心を満たすことが主な目的である。

黙っていれば美少女だが、無自覚に他人を見下す悪癖がありとても口が悪い。
ことあるごとに「死ねばいいのに」「死んじゃえ」「ファッキンね」とか呟いている。
特に読書の邪魔をされた時は危険。

生息地が重複するティリー・サヴェージとは仲が悪い。
というのも「図書館で寝間着なんてバカみたい。死ねばいいのに」
とうっかり言ってしまい、一方的に彼女の不興を買ったのが原因である。

フルネームはアエミリア・ユーリア・ロードピレナ・ピウス。
ロードピレナ王家に連なる、言わばお姫様だが、知られるとややこしいので、
普段は出自についてはごまかしている。
実はクララ姫ともかなり近い血縁であり、
夫になれば第２位の王位継承権があるという噂もあるが、
それについて本人から得られる回答は「死ね」の一言のみである。
毒舌というか偉そうな上から目線なのはこの出自がだいたいの原因。